10.27 市長発言要旨

民間事業者の力で、市立病院跡地を新たな拠点へ

自由なアイデアを 10 月 27 日から募集

皆様、お集まりいただきありがとうございます。

私から、宝塚市立病院の既存施設の利活用について、サウンディング型市場調査を実施することについて、ご報告いたします。

現在、本市では、宝塚市立病院の新病院整備を進めています。

新病院については、老朽化した現在の病院施設の課題や、将来にわたって市民に必要な医療を安定的に提供していくことなどを踏まえ、現在の第 1 駐車場に新病院を整備する計画としております。

一方で、新病院の整備後には、現在の病院の既存施設やその周辺の土地を、どのように活用していくのかという課題があります。

現在の病院施設は、築 40 年を超えており、施設や設備

の老朽化が進んでいます。そのため、単に既存施設をそのまま活用するということではなく、今後の医療・福祉・介護・保健の連携や、本市に必要な機能をどのように確保していくのかという視点から、利活用のあり方を検討していく必要があります。
また、新病院の整備には多額の費用を要することから、既存施設についても、民間のノウハウやアイデアを活用することで、将来の市民サービスにつながる有効な活用方法を検討するとともに、市の財政負担についても十分に考慮していく必要があります。
こうしたことから、これまで庁内で検討を進めてまいりましたが、市だけで活用方法を決めるのではなく、実際に民間事業者の皆様から、どのような活用が考えられるのか、また、施設の老朽化や改修などを含め、どのような条件であれば事業として成立する可能性があるのか、幅広くご意見をお聞きすることが重要であると考えました。
そこで今回、既存施設の今後の利活用の可能性や、事業化に向けた条件などを把握するため、民間事業者の

皆様との対話を行う、サウンディング型市場調査を実施することといたしました。
今回の調査は、現時点で特定の活用方法や事業者を決定するものではなく、民間事業者の皆様から幅広くご意見や提案をいただき、今後の検討に生かしていくためのものです。
本市としては、今回のサウンディング型市場調査を通じて、民間事業者の皆様の意見をしっかりとお聞きし、既存施設の有効な利活用と、市民の皆様にとってより良い医療・福祉等の環境づくりにつなげてまいりたいと考えております。
私からの発表は以上です。詳細につきましては、担当からご説明いたします。